

みなとふ

Takanawa
Community News Magazine

高輪地区情報紙

2012年11月
Vol.19

三田4・5丁目・高輪
白金・白金台

発行：高輪地区総合支所
協働推進課



CONTENTS

② 活かそう、地域の商店街

ベートーヴェン第九の
サロンコンサートのお知らせ
わたしたって地域の一員！

③ この街にこの人あり

ファッションデザイナー

ドン小西さん



④⑤ 地域のあしあと

お寺の今・むかし

⑥ 暮らしプレイバック

⑦ 私の自慢・地域の自慢

⑧ 区からのお知らせ

表紙絵

「医科研の中から」

田中栄さん（白金在住）

医科研は春の桜、秋の紅葉が美しく、特に正門前の大銀杏は数年前の落雷で少し短くなりましたが、圧巻です。

人生の設計図を描こう

今夏のロンドンオリンピックで国民総寝不足に陥ったサッカーも、現在は2014年のワールドカップ出場に向けて熱い戦いが続いています。

サッカーで思い出すのは、かの中田英寿選手にまつわるエピソードです。中田選手がまだJリーグに入りたての頃といいますが、15年以上も前のことですが、ある日、彼が当時のチームドクターに「誰かいいイタリア語の先生がいたら紹介してくれないか」と相談を持ちかけたそうです。そのドクターは講演の中で、こう語りました「まだ海のものと山のものともわからなかった頃の中田選手は、すでに将来をみすえて、イタリアへの雄飛を考えていた。日本を飛び出して、世界で活躍することを計画していた」と。中田選手はまさにそれを実現し、「世界のヒゲ」と呼ばれるまでになりました。

自分の人生を設計すること—ある目標をもって、それに到達するためには何をしたらよいか、を具体的に考える。これは容易なことではないかもしれませんが、自分が人生を「生きた」と実感できるためには、とても大切なことではないでしょうか。

なにも大それた目標を持つ、ということではありません。明日のことを考えるだけではなく、1年後の自分、10年後の自分のあるべき姿、自分はこうありたい、と願う具体的な姿をイメージして、それに向かって進むことさえできれば、自分の描く人生に一步近づけるといえます。

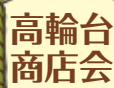
設計図を描くということは、単に個人のことにだけに限りません。私たちの住む高輪地区も、港区基本計画に基づいて、区民の生活を守るためにさまざまな面から見直しを行い、計画を練り上げて「かがやくまち・にぎわうまち・はぐくむまち」の実現を目指しています。具体的な目標を掲げ、長期計画を立てて着実に歩を進めています。

高輪地区に生きる私たちも、自分自身の人生の設計図を描きましょう。これは、ほかの誰かが与えてくれるものではなく、自分自身にしかできないことであり、自分のためのことなのです。



高輪地区には、現在8つの商店街があり、それぞれユニークな活動を展開しています。商店街は、いわば地域の顔。商店街に活気があふれていると、住んでいる人の生活も豊かに、そして楽しくなります。「地域の商店街がいつまでも発展し続けるように」との願いをこめて、地域の商店街をご紹介しますコーナーです。

「うなジュージュー祭」で元気いっぱい



高輪台商店会は、都営浅草線・高輪台駅の前に位置しています。高輪台商店会からしばらく歩いていくと歴史的建物やお寺・神社を見ることができます。

昔は、桜田通り沿いに多くのお店が軒を連ねていました。最近では建替えてタワーマンションもいくつか建設されていますが、店舗がビルに入らず、店舗数も減少傾向です。高輪台商店会の会員数は現在のところ21店舗あり、花屋さんや酒屋さん、飲食店などの他、平成23年度の港区商店グランプリにおいて東京商工会議所港支部会長賞を受賞したリーズナブルな結婚式をプロデュースする店もあります。

商店会は、毎年4月に「港区立白金児童遊園」通称「猿町公園」のお花見に参加し、すしの無料配布なども行っています。

商店会の若い会員が中心となり、商店会の活性化のシンボリックなイベントとして、「目黒のさんま祭り」に対抗して2年前から「うなジュージュー祭」を開催しています。

昨年の「うなジュージュー祭」では、特製ミニうな丼が300円で先着500名の方々に提供されましたが、あっという間に完売御礼となりました。また、フリーマーケットや東北産「野菜特売市」も同時に開催され、大勢の人で賑わいました。

今年は、11月11日(日)に開催される予定です。特製ミニうな丼も昨今のうなぎの値段の高騰にもかかわらず、昨年同様の値段で多くの方に提供し、元気になってもらおうと会員のみなさん、がんばっています。

「うなジュージュー祭」の他にも魅力のある商店や街づくりのプランがいっぱい。そのために汗をかき後継者の方々が育ってきている高輪台商店会の未来は、ますます明るいと思えました。



(担当 / 菅野・森・安藤)

「うなジュージュー祭」の様子



お花見の様子



わたしだって地域の一員!



ムクくん (オス/雑種/14歳) サクラちゃん (メス/ビーグル/12歳)

犬2匹は、保健所からもらってきました。サクラはもらった時ブスだったので、せめて名前だけは女の子らしくしました。ムクは毛が「ムクムクフワフワ」だったので、ムク。サクラは、若い時は壁やドアに体当たりしながら走り回っていましたが、年取った今は、階段を踏み外すこともあります。ムクも、もう、柵を飛び越えて台所で盗み食いすることもなくなりました。

ムクは優しく、家族と他の動物たちの癒しです。散歩コースは、外苑西通り、目黒通り。ヨタヨタと老犬2匹で、ゆっくり歩いています。

猫2匹は、我が家の天井裏で生まれたノラ猫の子です。女優のグレース・ケリー、暴れん坊将軍から、それぞれ名付けました。お昼寝とブラシをしてもらうのが大好き。日が暮れるまでカーテンの裏で寝ています。



グレースちゃん (メス/4歳) ショーグンくん (オス/4歳)

2匹とも人見知り、なかなか人前に出てきませんが、グレースは「ツンデレ」ショーグンは「甘えん坊」と、性格は違います。グレースはムクが大好きで、猫なで声で追い掛け回し、擦り寄っては嫌がられています。

飼い主 H.1さん (白金在住)

(担当 / 安・森・滝川)

<募集しています!>

ペット紹介のほか、おすすめ料理(6ページ掲載)も募集しています。

あなたの自慢のペット、自慢の料理を紹介してみませんか?

①記事、②写真(プリントL判またはCD-R)、③氏名、④住所、⑤電話番号、⑥FAX番号、⑦メールアドレスを書いて下記あて先に送付してください。

※掲載をお約束するものではありません。

※応募書類は返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。

【あて先/問い合わせ先】

高輪地区総合支所協働推進課「地域情報紙 募集担当」

〒108-8581 港区高輪1-16-25 ☎03-5421-7123



ベートーヴェン第九のサロンコンサートのお知らせ

12月8日、東海大学サロンコンサートの5周年を記念してベートーヴェン交響曲第九番が演奏されます。

- 開催日程 平成24年12月8日(土) 17時00分開演
- 会場 東海大学高輪キャンパス4号館地下1階コメドール (港区高輪2-3-23)
- 後援 港区、ドイツ連邦共和国大使館
- 入場 無料

- 指揮 神田 典城 (東海大学OB管弦楽団常任指揮者)
- 曲目 ベートーヴェン交響曲第九番 二短調作品125 他
- 演奏 東海大学フィルハーモニック☆たかなわ
- 合唱 みなと第九を歌う会 120名
- 独唱 砂田 愛梨 (ソプラノ) 宮川 千穂 (アルト)
後田 翔平 (テノール) 金子 慧一 (バス)
- 合唱指導 崖 圭子 仲島 泰子

■申込 電話、Fax、E-mailにて、「サロンコンサート」の申し込みであること、氏名、住所、電話番号をお知らせください。

■申込締切日 11月28日(水)

■定員 200名(定員になり次第募集は終了します)

■申込先 東海大学エクステンションセンター

☎03-5793-7133 (10:00~17:00、土・日・祝を除く)

FAX 03-5793-7132

E-mail tuext@ext.tokai.ac.jp



東海大学フィルハーモニック☆たかなわ

(担当 / 安藤・菅野)

いつまでもクリエイティブな人間でありたい

現在白金台にお住まいですが、ここにお住まいになって何年位になりましたか また、どうしてこの地域を選んだのですか

1989年にマンションを買い住み始めましたので、23年になります。白金台は高台で、高い地域に住みたかったからです。昔、この地域は都電が走っていてお店ものんびりしており、ちよつとレトロな雰囲気が好きでした。購入時、地下鉄南北線が開通する前で、不動産屋から将来値上がりすると言われ、だまされて高価なマンションを買ってしまったよ(笑)。

白金ランニングクラブに所属されていますが、この地域を走っているのですか

白金を出発して、皇居を一周するとちよつと10kmくらいになります。そして帰りはタクシー(笑)。まっ、無理をせず楽しんでやっています。なかには20km、30kmとだんだん距離を延ばしてフルマラソンに参加する等、がんばっている会員もいますね。もちろんクラブのユニフォームは私がデザインしたものです。しかし、最近、余裕を持つことができな時代の流れですかね、ちよつと会員が少なくなっているのがさびしいです。あと、近くのスポーツクラブの会員にもなっており、週に1〜2回のペースで利用しています。頼まれて、講演会もしたことがありますね。

この地域でよく行かれるところはどこですか

近くのレストラン等はほとんど行ってきますね。私が気に入っているところは八芳園の庭で、特に桜の咲く季節は最高です。

ファッションの仕事に就かれたきっかけは

三重県で母の実家が大きな呉服屋

だったので、小さい頃から着物に接していました。着るものに興味がありましたね。生地とかデザインの善し悪しを見分ける力が自然とついていったのだと思います。

やはり、親の影響は大きいですね。娘も美術大学をでてその後4年間ロンドンに留学し、今は日本でファッションデザイナーをやっています。ファッションやデザインの話になると、娘とも真剣な議論になるんですよ。



ファッションの世界はどのようなところですか

ひとつの賞をとると、デザイン料が10倍になり、講演料が5倍になるという厳しい競争の世界で、若い頃は5、6時間しか寝ないで命がけで仕事をしました。

プロとしてよい仕事をさせるには、きちんと報酬を払うべきというのが私の考え方です。そうでないと、どうしても、どうせお金にならないから…と

気持ちにゆるみが出てよい仕事にならないことが多いです。

ファッションのデザインで一番大事なことはなんでしょう

時代は日々移り変わっていきます。その時代に合ったファッションをデザインすることが大事です。ひとつのデザインで成功すると、デザイナーはそれに固執してしまう場合があるので。そのデザイナーが、いつの間にか時代に取り残されてあきらまれてしまうことがよくあります。五感を研ぎすまして時代の変化を敏感にキャッチすること、それがファッションで一番大事なことです。

テレビの番組でファッションチェックをされていますが、初対面でまずチェックされるのはどんなところですか

全体を見ます。ファッションを見ると、その人の性格、生まれ育った環境、歩んだ人生などが大体わかってしまいます。占い師みたいなものですよ(笑)。ファッションがその人自身を表しているのです。だからファッションは大事なのです。ブランドに頼らないでその人の個性を表現するファッションを心がけてほしいです。実は私も若い頃はグレーの服を主に着ていましたが、今思うと、もつと自由に色を選ばべきだったと後悔しています。

年をとっても若さを保つコツはどんなことですか

いつもクリエイティブな気持ちでいることです。好奇心も大事です。人生、あきらめてはダメですよ。過去にこだわってはダメですよ。何年もくたびれたスーツを着てそれでよいと考えてい

ば、発想もそんな人間になってしまいました。ファッションがその人の生き方も決めてしまいます。イメージメイキングをすることも効果があります。例えば、匂いから音をイメージする、音から映像をイメージするとかそういう練習を常にやっていたらいつまでも若さを保つことができます。

この高輪地区はどんな街になってほしいですか

白金・高輪といえは全国だれでも知っているところなので、全国の人がここにきて「さすが白金・高輪だ」と言われるような街になってほしいですね。現状は、来てみるとちよつとがっかりすることが多々ありますね。地域の人は自分の住んでいる街にもつと誇りを持ってほしい。

街の質をよくするには、ある程度規制が必要です。建物の高さ、形、デザイン、材質などがバラバラでは良い街になりません。目黒通りは、あまり建物の統一がとれていませんね。街の景観をきちんとコントロールするには、ある程度の規制が必要です。行政のもとに見識を持った審査委員会を作って、それらがチェックしていれば、魅力ある街になるでしょう。

白金台の目黒通りの歩道橋の色は私が提案しました。最初は明るい草色で浮いていた色だったので、今のライトグレーになって地域になじんでいます。

私が見てよかったのはイスラエルのテル・アビブの街で、建物のすべてのデザインがパウハウス様式で色も統一されており素晴らしい街並みでした。

商店街の活性化の話もよく聞かれますが、組織の古い体質が問題で、若い後継者を育て、商店街全体のことも若い人が決めていけば必ず活性化しますよ。

◆インタビュを終えて

秋色のシャツに帽子を小粋にかぶった小西さん。最初は取材の報酬の件で辛口の話がでたので、ちよつとははらしました。1時間半も次から次へ貴重なお話をいただきました。クリエイティブなことに対する情熱がほとばしり、年齢を感じさせません。また、話の底に流れる温かい人柄が感じられました。

(担当/安藤・安・森・谷知・河村)

ドン 小西 (どん こにし)

- 1950年 三重県津市生まれ。
- 1981年 (株) フィッチェ・ウォーモを設立。以後「FICCE」「YOSHIYUKI KONISHI」「d.k.f」などを展開。
- 1991年 「毎日ファッション大賞」大賞受賞
- 1998年 「FECデザイナー賞」受賞
- また長野五輪、シドニー五輪では日本選手団の公式ユニフォームのデザイン監修も担当するなど、様々な企業・国関連のユニフォームをてがけてきた。
- 東京・ミラノ・NYなどのコレクションにも参加し、国際的にも評価が高い。
- 近年ではテレビ・雑誌などでの辛口なファッションチェックが人気。

地域のあしあと

お寺の今・むかし

関係年表

元号	西暦	主な出来事	
慶長5年	1600年	関ヶ原の戦い	
8年(初代家康)	1603年	徳川家康、征夷大将軍に任じられ、江戸幕府を開く	
元和元年(2代秀忠)	1615年	5月 大坂夏の陣 豊臣家滅亡 7月 武家諸法度・禁中並公家諸法度制定	
寛永12年(3代家光)	1635年	5月 鎖国令 11月 寺社奉行を置く	①
16年	1639年	7月 鎖国完成	
明暦3年(4代家綱)	1657年	1月 江戸大火(明暦大火) 4月 江戸の主要道幅拡張	㊥
江戶武家屋敷・寺院敷地を割り替える			
万治元年	1658年	9月 江戸に定火消役を設置	
2年	1659年	12月 両国橋架橋	
寛文年間	1661年~		㊦
元禄15年(5代綱吉)	1702年	12月 赤穂浪士討ち入り	
弘化3年(12代家慶)	1846年		本ページ掲載の地図が作成される
嘉永6年	1853年	6月 ペリー来航	
慶応3年(15代慶喜)	1867年	10月 大政奉還	

① 寛永12年6月、武家諸法度が改定され、参勤交代制が確立すると、諸大名に在府のために、江戸に屋敷をあたえる必要が生じ、江戸城周辺や八丁堀の寺院が、三田周辺に移転させられています。現在の三田の寺院のほとんどが、寛永12年の移転です。三田の寺町は計画的に造られたということです。

㊥ 世にいう振袖火事です。江戸初期の町の様相は失われました。幕府は復興対策を打ち出し、市街を整備して火除けの広小路を設け、本所・深川にも市街を拡大するなど、防火対策を講じていきます。そのため多くの寺院が移転を余儀なくされます。

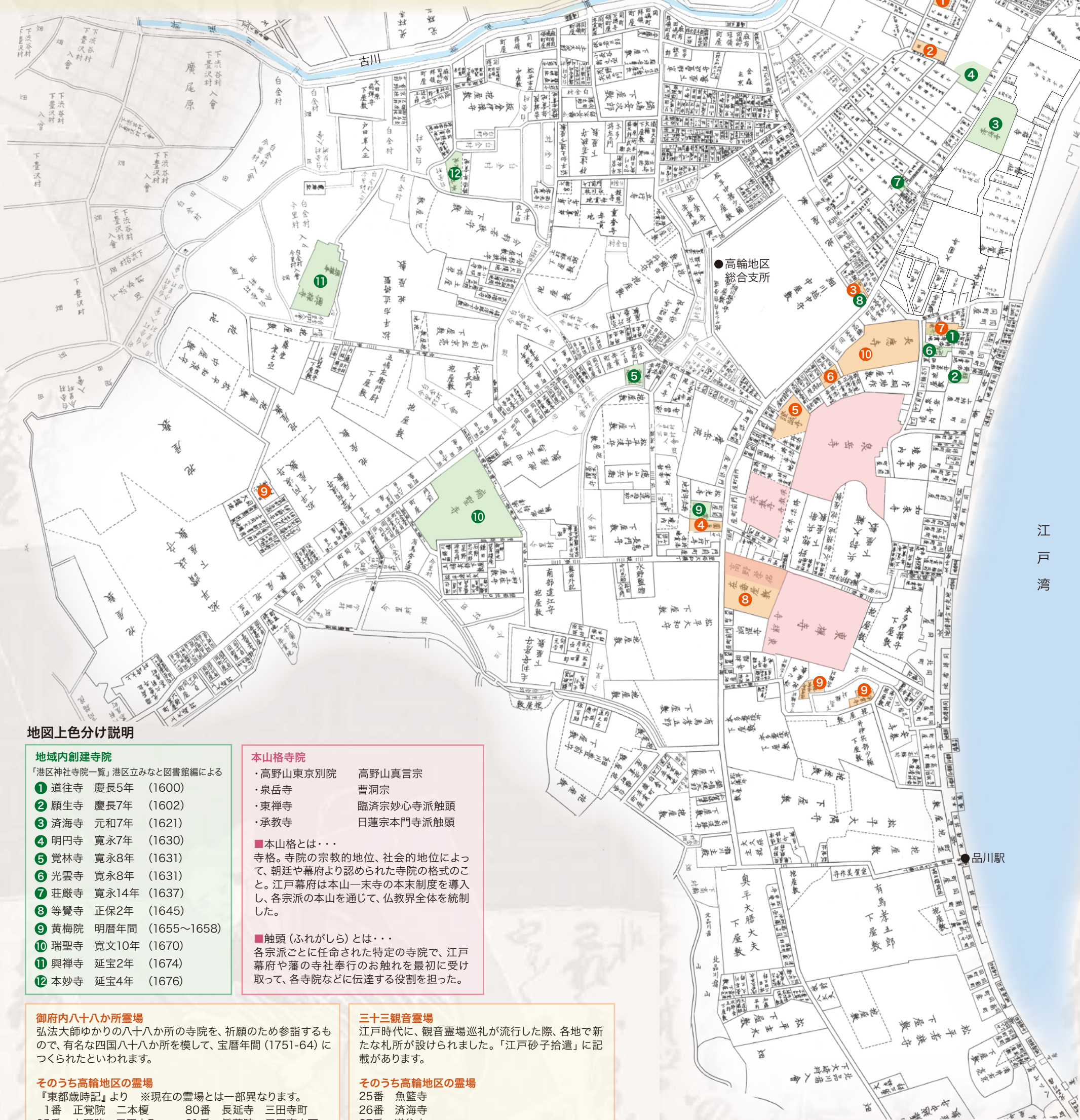
㊦ 寛文年間(1661~)以降、当地区への寺院転入は数年に1寺位のペースになりました。

やがて幕末・維新の時となり、多くの寺院にとっても、さぞかし苦難の時代であったことでしょう。廃仏毀釈・太平洋戦争・敗戦などの大波、平和な時代になってからも、東京オリンピックなどのための道路拡張による寺領減少などの波を乗り越えて、現代につながっています。

弘化3年の地図に載って、現在は地区内にはない寺院約40寺が、この地にありません。別の場所に転移したお寺、明治維新や戦後の混乱の中で分からなくなってしまったお寺……。最も大きな要因は、神仏分離と廃仏毀釈です。多くはこれによって疲弊した、もしくは必要ではなくなった寺院がやむを得ず廃寺や移転・合併することで減少したものです。

私たちの高輪地区には、今でもたくさんの寺院が存在します。その1つ1つが、それぞれに歴史を秘めて、何百年もの間、この場所に残っているということ自体、圧倒される思いです。長い間に記録が散逸したり、わからないことだらけですが、多少でも残っている史料で、地図上に復元を試みました。江戸時代の高輪地区に思いを馳せてください。

<地図参考文献：港区立港郷土資料館発行「増補港区近代沿革図集」所収の「御府内場末往還其外沿革図集」(弘化3年)>



地図上色分け説明

地域内創建寺院

「港区神社寺院一覧」港区立みなと図書館編による

- ① 道往寺 慶長5年(1600)
- ② 願生寺 慶長7年(1602)
- ③ 済海寺 元和7年(1621)
- ④ 明円寺 寛永7年(1630)
- ⑤ 覚林寺 寛永8年(1631)
- ⑥ 光雲寺 寛永8年(1631)
- ⑦ 莊嚴寺 寛永14年(1637)
- ⑧ 等覺寺 正保2年(1645)
- ⑨ 黄梅院 明暦年間(1655~1658)
- ⑩ 瑞聖寺 寛文10年(1670)
- ⑪ 興禅寺 延宝2年(1674)
- ⑫ 本妙寺 延宝4年(1676)

本山格寺院

- ・高野山東京別院 高野山真言宗
- ・泉岳寺 曹洞宗
- ・東禅寺 臨済宗妙心寺派触頭
- ・承教寺 日蓮宗本門寺派触頭

■本山格とは・・・
寺格。寺院の宗教的地位、社会的地位によって、朝廷や幕府より認められた寺院の格式のこと。江戸幕府は本山一末寺の本末制度を導入し、各宗派の本山を通じて、仏教界全体を統制した。

■触頭(ふれがしら)とは・・・
各宗派ごとに任命された特定の寺院で、江戸幕府や藩の寺社奉行のお触れを最初に受け取って、各寺院などに伝達する役割を担った。

御府内八十八か所霊場

弘法大師ゆかりの八十八か所の寺院を、祈願のため参詣するものとして、有名な四国八十八か所を模して、宝暦年間(1751-64)につくられたといわれます。

そのうち高輪地区の霊場

- 『東都歳時記』より ※現在の霊場とは一部異なります。
- | | | | |
|---------|------|---------|-------|
| 1番 正覚院 | 二本榎 | 80番 長延寺 | 三田寺町 |
| 65番 大聖院 | 三田寺町 | 81番 眞蔵院 | 三田南寺丁 |
| 69番 寶生院 | 三田寺町 | 84番 明王院 | 三田寺丁 |
| 77番 仏乗院 | 三田寺丁 | 85番 泉福院 | 三田台町 |

■御府内とは・・・

「朱引」内ワ御府内相心得候様(文政元年(1818)の幕府見解)「朱引」とは江戸の絵図面に朱で線を引いたものです。これによって、東は中川、西は神田上水、南は南品川を含む目黒川辺、北は荒川・石神井川下流の内側がおおよそ御府内の範囲になりました。

三十三観音霊場

江戸時代に、観音霊場巡礼が流行した際、各地で新たな札所が設けられました。「江戸砂子拾遺」に記載があります。

そのうち高輪地区の霊場

- 25番 魚籃寺
- 26番 済海寺
- 27番 道往寺
- 29番 高野山東京別院

■江戸砂子とは・・・

江戸の地誌。享保17年(1732)刊。江戸城を中心に、地名・旧跡を詳述。略図・さし絵入りで、内容も系統立っているため、広く一般に流布。

【参考文献】

- ・「昭和五十七年十二月末現在 港区神社寺院一覧」(港区立みなと図書館)
- ・「角川 日本史辞典」高柳光寿 竹内理三編(角川書店)
- ・「日本史年表」歴史学研究会編(岩波書店)
- ・「増補港区近代沿革図集」(港区立港郷土資料館)
- ・「東京史跡ガイド」港区史跡散歩 俵元昭(学生社)
- ・「鬼平犯科帳」池波正太郎(文藝春秋)
- ・「芝區誌」(東京市芝區役所)
- ・「昭和新撰 江戸三十三観音札所案内」(江戸礼所会)

- 1 龍臥山 宝生院 三田4-1
慶長16年(1611)八丁堀で創建され、その後、寛永12年(1635)現在地に移転。
- b 境内には、日本ではじめて都々逸をはじめた、都々一坊扇歌の妻「琴」の墓がある。墓の正面には2つの戒名が掘り込まれている。右の方は妻「琴」の戒名、左の方は都々一坊扇歌自身の戒名である。扇歌は生前、この寺で戒名をもらい、妻の三回忌にあたる弘化4年(1847)追善供養のため、この墓を自ら建立した。

- 2 般舟山 願海寺 三田4-2
寛永12年(1635)現在地に移転。
- a 境内に立ち並ぶ洋館は詩人・寺山修司や孫文など外国人も起居したという歴史ある建築物。

- 3 妙覺山 等覺寺 高輪1-5
正保2年(1645)開創。
- b 細川家に関連した寺。南蛮寺の鐘といわれるものと切支丹灯籠の芋石がある。池波正太郎の「鬼平犯科帳」泥亀(スッポン)の中に、等覺寺の前で一休みをする場面がある。

- 4 正法山 圓真寺 高輪1-27
b 寛永3年(1626)開創。万治元年(1658)当地へ。雲井龍雄(幕末維新期の志士)事件の拠点として「帰順部典点検所」を開設した場所である。雲井龍雄の事件とは：倒幕から新政府樹立までの薩長の権謀術数に、失業浪士が義憤を覚え救済を求めるが、政府を倒す陰謀を企てたとして捕らえられる。

- 5 護念山桐樹院 證誠寺 高輪2-2
a 承久3年(1221)桜田村霞が関(現在の桜田門付近)に開創。慶長17年(1612)西ノ久保に移転、更に承応2年(1653)現在地に移転。当地に阿弥陀如来の御本尊の他に、稲荷大明神をお祀りしてあったが、明治元年施行の「神仏分離令」により、お社のあった境内地2,000坪を明治政府に寄進。第二次世界大戦で鐘楼の梵鐘を供出し、戦火で本堂(築200年余)を焼失、昭和37年本堂を再建し現在に至る。

- 6 泰龍山 保安寺 高輪2-2
慶長12年(1607)開創。
- c まっすぐに敷き詰められた階段、両側に棕櫚(シュロ)並木、季節の木々など、えもいわれぬ風情の先に見えるお堂。珍しく下り階段が参道になっている寺である。

- 7 来迎山 道往寺 高輪2-16
慶長5年(1600)当地創建。高輪地区内では古い創建寺院。
- b 当寺は済海寺の住職の隠居寺であつたらしい。東京大空襲で戦火を浴び、庫裏は焼失したが、本堂は焼失を免れた。現在工事中で、本年中には新しい堂宇が完成する。お寺の前の路傍(石段下向かって右側)に、今では珍しい三田の丘の地下水が湧き出る泉がある。現在は暗渠となっているが、水音は確かに聞こえている。

- 8 高野山東京別院 高輪3-15
a 高野山東京別院は、江戸に幕府が開かれた際、高野山の宝門・寺門の学侶方の在番所の寺として、慶安2年(1649)浅草の日輪寺に寄留して開創。明暦元年(1655)芝二本榎の地を下賜され、延宝元年(1673)「高野山江戸在番所高野寺」として正式に建立。

元禄15年(1702)火災により焼失。翌16年には直ちに再建復興されたが、そのかげには時の將軍綱吉公の母堂、桂昌院尼の金五百両の寄進によるところが大きい。昭和2年(1927)「高野山東京別院」として改称し、寺法を改め、住職は総本山金剛峯寺座主が兼任している。

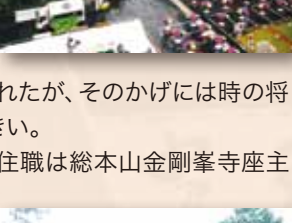
- 9 無量山 慈雲院 法蓮寺 白金台5-13
寛永元年(1624)下高輪東禅寺前に開創。寺伝では、かつては鎌倉にあり、新田義貞の鎌倉攻めの際に兵火にあい、焼失したが、何者かが武蔵高輪の地に本尊薬師如来を置き、寛永元年に至って道雪法師が下高輪に開基したという。(御府内寺社備考)

地図上の法蓮寺は、明治22年(1889)隣接の浄業寺および芝園橋付近の瑞華院を合併して現在地に移転。

- c 現在の法蓮寺は、弘化3年の地図には載っておらず、高輪地区の中で新しいお寺ともいえる。
- 10 長応寺 オランダ公館跡 高輪2丁目あたり
鎖国中も交渉があった唯一の西欧国家であるオランダは、幕末から明治3年ごろまで長応寺を公館として使用した。
明治35年(1902)北海道に移転したが、現在の品川区に同名の寺を建立した。

a：お寺発行のパンフレットより b：お寺住職より c：取材メンバーのコメント ※特に記載のないものは参考文献をもとに作成

(担当 / 伊関・吉田・明石・河村)



暮らし フレイバック

お話を伺った人

島崎 久子さん
(高輪在住)

半世紀以上前の高輪地区は、一体どんなまちだったのでしょうか？
どんな光景と暮らしがひろがっていたのか。高輪地区に長くお住まいの方々にお話を伺い、昔を訪ねていくページです。

第2回は君塚町(今の高輪1丁目、高松中学校校門周辺)に生まれた時からお住まいの島崎久子さん(75歳)に戦争中から戦後にかけての街の様子についてお伺いしました。島崎さんは白金小学校の出身で、小学校3年の時、長野の方に疎開され、帰ってきて高松中学校に入学しました。お父さんは工場を経営されていました。



戦争中、医科研のあたりにB29が墜落しました

■戦争中のこと

当時、アメリカの爆撃機B29が焼夷弾を東京に投下していました。天神坂の古寿老稲荷神社の下に大きないちょうの木があり、B29がいちょうの木の左に見えたら逃げ、右に見えたら大丈夫と教えられていました。今でもはっきり覚えています。ある日、そのB29が木の右の右に見え、ひらひらと落下していくのが見えました。ドスンという音を聞いて皆でおちたところへ見に行きました。当時の伝研(今の医科研)のあたりに、大きないちょうの木をうまくさけ、道路わきの溝に飛行機ははまっていました。女性らしき人が1人、飛行機の中で亡くなっており、3人は落下傘で降りましたが電線にひっかかっていたのを下ろしたそうです。1人は火薬庫(今の自然教育園)に逃げ、2人はいちょうの木に縛られていました。

また、現在の白金2丁目には伊達家のお屋敷があり、大きな門と小さな門がありました。開いている門から入ってよく遊んでいました。わらぶき屋根の大きな家があり、そこに焼夷弾が落ちて火災になり、君塚町の方まで火が飛んできましたが幸い大きな火事になりませんでした。

■高松中学校第1期生として入学

高松中学校は、当初は現在の白金台どんぐり児童遊園の敷地に建設される予定でしたが、通学距離が遠い中学生が多くなるということで、急遽高松宮邸の敷地に建設されることになりました。

私は、昭和24年入学の高松中の第1期生でした。校庭には戦前、稲が植えられていました。校庭に高い松の木が1本ありました。また、大きなひょうたん池もあり、校庭でボール遊びをするとよく池に入り、木でつくった筏に乗りボールを拾いに行きました。それが面白くてわざわざボールを池に入れたりする子もいました。

校庭はいつもぬかるんでいました。それで当時、高輪地区総合支所のあたりは小高い山になっていたの、その山をけずって校庭に土を運び入れ、生徒たちは校庭を整備する作業をしました。

校庭には蛇がよくでてきて、その蛇を捕まえてぐるぐる回して放り投げる子もいました。60人以上の6クラスで生徒数が多かったのですが、学年が増えるたび校舎が足りなくなり、木造の校舎がどんどん増築されていました。

■君塚町あたりの街の様子

国道に沿って商店や工場がびっしり並んでおり、二本榎通りまで買物に行かなくても済むくらいでした。天神坂にもお店が多くおそば屋さん、パン屋さん、酒屋さん、お菓子屋さん、写真館などがありました。

東京オリンピック(1964年)によって新しい広い道路ができ、それからお店や工場が減って寂しくなっていましたね。

(担当 / 安藤・伊関)



●材料(4人分)●

・鶏もも肉(骨つき)	4枚
・オリーブの実(グリーン、黒合わせて)	20個
・にんにく(みじん切り)	1かけ
・オリーブオイル	大さじ2
・トマトの水煮(缶詰)	400g
・白ワイン	1/2カップ
・水	1/2カップ
・固形ブイヨン	1つ
・塩・胡椒	少々
・イタリアンパセリ	(飾り用)

読者 塚田 厚子さん(白金台在住)のおすすめ料理

鶏肉のカチャトーラ

●作り方●

1. 鶏もも肉に塩・胡椒をふる。
2. フライパンにオリーブオイルを熱し、にんにくみじん切りを入れ、香りが立って来たら鶏肉の皮のほうから強火で焼き、両面に焼き目をつける。
3. 土鍋に2の鶏肉、トマトの水煮を(手で潰しながら)入れ、さらにオリーブの実、固形ブイヨン、白ワイン、水を入れ、蓋をして弱火で20~30分煮る。途中、焦げないよう様子を見て、水分が足りない時は水をさす。
4. 器に盛り、あればイタリアンパセリを飾る。

ワンポイント・アドバイス

- ・オリーブの実…実をあく抜きして塩漬けにしたもの。瓶詰、缶詰で売られている。
- ・土鍋で煮込む時、軽く炒めた玉ねぎ、ナス、ズッキーニなど野菜類を加えてもよい。
- ・鶏もも肉(骨つき)は、ブツ切りでもよい。

※この料理はイタリア料理の一つです。

おすすめ料理
募集中!

※応募方法は2ページ参照



(担当 / 安・滝川・三村)

私の自慢 地域の自慢

あなたのお隣の人がこんなすばらしい活動をしていた、よく知っているあの人には、こんなすてきなエピソードがあった——
さまざまな活動や仕事を通じて、私たちに大きなエネルギーを与えてくれる身近な方々に登場していただくページです。

この人をぜひ紹介したい、という情報をお持ちの方からのご連絡を待っています！

ヨットで沖縄へチャレンジ 一気分はいつだって青春一

片桐 義雄さん（高輪在住）

去る4月、片桐さんは8人の仲間とともにヨットで横浜を出港し、一路沖縄へ向かいました。このクルージングはヨットレースに参加するオーストラリアの船を沖縄まで回航するためのもので、9人の乗組員は若い女性1名を除き、ほとんどが60代、70代というシニアチーム。しかし、ヨットをこよなく愛する熟年の仲間たちです。

全長47フィート（約14m）の小型な船「AOBA」号に乗船した一行は4月12日に横浜を出発。尾鷲～土佐の久礼～油津～種子島を経由し、途中荒天に見舞われ種子島で足止めをくう一幕もありましたが、無事13日間の航海を経て、4月24日沖縄にゴールインしました。

今年71歳の片桐さんがヨットに出合ったのは高校時代。ヨット歴はざっと50年を超えます。その間、楽しいこと、危険なことは数知れず。あるヨットレースでは一晩漂流して何とか生還し九死に一生を得た体験もありました。現在は気の合った仲間たちと、気ままにクルージングを楽しんでいます。

今回のクルージングについて伺うと、「クルーは長年の経験者が多かったので、チームワークがすばらしく、ヨット内の役割分担がとてもスムーズにいきましたね。最高でした」とのこと。さらに「ヨットは自然が相手のスポーツ。歳をとっても歳なりの乗り方をすれば、とても楽しめます。歳を重ねた仲間はそれなりに経験、応用力が豊富で、何よりも信頼感が持てます。言葉に出さないでも分かり合える、この安心感が第一ですね。この仲間となら、いつか世界一周だって夢ではないかもしれませんよ（笑）」と、あくまでも意気軒昂な片桐さんでした。



さっそうと舵をとる片桐さん



無事、宜野湾マリーナに入港して、祝杯！

鯉、金魚、メダカで通る人を楽しませる

菊池 昌治さん（白金在住）

白金1丁目の菊池さん（71歳）は、路地に面して金魚、メダカの水槽を並べて、通る人の目を楽しませています。菊池さんは鯉や熱帯魚の専門誌に掲載されたこともある魚愛好家です。

玄関にある水槽では、5歳位の大きな鯉が40匹以上元気に泳いでいます。この水槽から東京大学の三四郎池に放した鯉もあるそうです。路地には、金魚やメダカなど数百匹が泳ぐ水槽を並べています。増えるごとに近所さんに配っているの、路地は金魚やメダカ通りとなっています。道を通る人や保育園の子どもたちはいつも金魚やメダカを見に来るのを楽しみにしています。子どもたちの楽しそうな顔を見るのが菊池さんの何よりの喜びだそうです。

魚を飼い始めたきっかけは、お兄さんが魚屋さんだったので、小さい頃から魚を見たりふれたりするのが好きだったからだそうです。魚の飼育歴はもう10年以上になります。

魚を飼うコツは、えさをやりすぎないことと、水槽の下に何も敷かないこと。大抵の人はかわいがりすぎ、えさのやりすぎで死なせてしまいます。水槽の下に石などを敷くと魚のふんがたまったりして水がきたなくなります。エアの入れ方や温度管理も大切です。えさ代など飼育にはお金がかかりますが、地域の人に魚が愛されるのが、菊池さんの生きがいになっています。



玄関にある鯉の水槽



菊池さん



路地にはメダカや金魚の水槽がズラリ

白金高輪グリーンミュージックフェスティバル わおん 輪音～音楽で結ぶ地域の輪～ を開催します。

地域の様々な世代の人たちが集まりふれあい、一緒に音楽を楽しむことで地域の絆を深めるイベント「白金高輪グリーンミュージックフェスティバル」を開催します。今年度は、「高輪の空の下、みんなで音楽を楽しもう」をテーマに、野外で実施します。

- 日時 平成24年11月18日(日) 12時30分から15時まで (正午開場)
 - 会場 高松中学校校庭(高輪1-16-25) ※雨天時は体育館
 - 費用 入場無料
 - 内容
 - (1) 高輪から音楽を発信!
日頃、高輪で活動するアマチュア出演者が、ジャンルを超えて、さまざまな曲を披露します。
 - (2) みんなで歌おう♪
会場の皆さんと一緒に、東海大学Takanawa Jazz Ensembleの演奏に合わせて、楽しく歌いましょう。
予定曲目 「ありがとう」「さんぽ」
 - (3) みんなで聴こう♪
東海大学Takanawa Jazz Ensembleがさまざまな曲を披露します。
予定演目 「In the Mood」ほか
 - (4) 団体・企業等による出展
自然や環境に関する様々なコーナーを設けます。音楽と一緒に楽しみましょう。
出展内容(予定) ・自然工作体験 ・環境保全の取組に関する展示 ・福祉売店
・コミュニティ・サロンと紙飛行機コンテスト ・電気自動車の展示
・クリスマスツリー、リース作り ・「高輪かがやき百景」写真展示
- 【問い合わせ】
高輪地区総合支所 協働推進課 地区政策担当
☎03-5421-7123

保育園に遊びにいらっしゃいませんか?

保育園では、『保育園であそぼう』事業を行っています。
親子で一緒に、楽しく遊びましょう!!
子育て中の方、是非保育園に足を伸ばしてください。お待ちしております♪
今回は高輪保育園の様子をご紹介します!!

開催日・内容は保育園によって異なりますので、各保育園にお問い合わせ下さい。

- 白金保育園 …… ☎ 3441-5022
- 志田町保育園 …… ☎ 3444-5404
- 高輪保育園 …… ☎ 3449-5047



ねんねの赤ちゃんも遊びに来てくれます。
なでなですすってもらい、気持ち良さそう♪
『うちの子、○○なんですよ。』と、
お子さんの成長の様子を話したり、
『こんな時、どうしてますか?』と情報
交換の場にも。同じくらいのお子さん
を持つお母さん同士、和気あいあいと
した空間です。



何でも試してみたい、1~2歳くらいのお友だち。
ママに手をつないでもらって、ピョン・ピョン・ピョ
ン!!その日に来てくれたお友だちの年齢に合
わせて、コンビカーやすべり台、ボールなどの遊びも
用意しています。体を動かして、たくさん遊びま
しょう!!



後半の10~15分は、みんなで一緒に遊ぼう!タイム。
体操は、一人で踊れる子もママに
手伝ってもらって赤ちゃんも、ノリノリ♪
手遊びや絵本読みなど、親子で
ゆったり触れ合う時間もあります。
大好きなママとピタタンコして遊ぶ
のは、幸せなひととき♪



平成24年度港区総合防災訓練(高輪会場)において、高輪地区防災ネットワークがロープ結び体験ブースを出展しました

平成24年10月14日(日)午前9時から高松中学校において、港区総合防災訓練(高輪会場)が実施されました。この訓練は、東日本大震災や阪神・淡路大震災などの過去の災害を教訓とし、今後発生が懸念される首都直下型地震に備えるために実施されました。訓練は、港区が主催し、高輪消防署、高輪消防団、高輪警察署、港区赤十字奉仕団、高輪地区防災ネットワークなどの関係機関の協力のもとで行われました。当日は肌寒い中でしたが、町会・自治会の方々など、約1,000名の方が参加しました。

今回の訓練の1つとして、高輪地区防災ネットワークが高輪消防署と連携してロープ結び体験ブースを出展しました。ブースでは「いざという時、知っておきたいロープの結び方」の講義を訓練参加者に行い、災害に備えるために、防災に関する知識を一人ひとりが身につけることの重要性を呼びかけました。訓練参加者から「こういう結び方があることを知らなかった」「災害時に役に立ちそう」などの声が挙げられ、高輪地区防災ネットワークの西田代表は「ロープを結ぶという素朴な行動の中で、あらためて『大自然の厳しさ』を知っていただき、災害に備えていただきたい」と呼びかけました。

今回の防災訓練ではロープ結びの他にも初期消火訓練や起震車体験などの訓練が行われました。日ごろから災害を想定して訓練を行い、防災知識を身につけることは災害時の被害を最小限に抑えることにつながります。自らのいのちは自らで守り(自助)、自分たちのまちは自分たちで守る(共助)ために災害に備えましょう。



※高輪地区防災ネットワークとは、災害発生時に地域が連携して安全確保を図ることを目的として高輪台小学校の学区域に所在する防災住民組織等によって構成された団体です。



今、ニッポンにはこの夢の力が必要だ。2020年 オリンピック・パラリンピックを日本で!

東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会
公式ホームページ <http://tokyo2020.jp>

編集だより

●高輪地区には数多くのお寺があり、それぞれに伝統と格式を保ち、絶妙なバランス感覚を醸し出す素晴らしい街です。(白石)
●ドン小西さん、島崎さん、菊池さんなど取材した方々はみなさん、地域を愛して下さっていることがわかり、取材が楽しくなりました。(安藤)
●江戸時代からこの地に続いてきたお寺が、その静謐さを大切にしつつ、変化の早い現代に、どう対応し、これから先、更に歴史を重ねていくのかに興味を持っています。(伊関)
●地元大使館のある中東クウェート国が東北地方に原油を寄贈しました。驚きと共に感謝です!!(河村)

●11月11日の高輪台商店会「うなジュージュー祭」がお天気に恵まれ、12月8日の第九コンサートが盛り上がりそうですよ。(菅野)
●危険ともなうが、あの大海原を走る爽快感は忘れられない。70才をすぎてもヨットに挑戦している片桐さんに、脱帽です。高輪地区は、元気でパワフルなシニアが多いですね。(滝川)
●今夏はお祭りも通常通り実施でき、子どもたちも大喜びでした。これからも高輪地区の歴史の移り変わりを理解し、皆さんに利用してもらえる情報紙にしたいと思います。(立原)

●何気なく過ごしていた高輪地区でしたが、知れば知るほど歴史の一杯詰まった地です。なんと活き活きとした若さのある地域なのか、実感しています。(三村)
●高輪台商店会の「うなジュージュー祭」、東海大学の「サロンコンサート」。食欲の秋、芸術の秋、どちらも満足できるイベントが身近に開催されます。是非、お出かけください。(森)

●今回は「表紙紙」をはじめ「ベットの」「お料理」の記事をスポーツクラブの友人たちにお願いました。皆様とても協力的で助かりました。(安藤)
●「私の自慢」を取材して「若さとは年齢とは関係ない」ことを改めて実感しました。大好きなものを持つこと、それが若さを保つ最大の秘訣です。(谷知)

●高輪地区は、江戸初期に多くの寺院が移り寺町が形成されました。これらの歴史的な建物や守り継がれた文化財をこれからも大切にしていきたいものです。(吉田)
●今回の取材では、見事に鯉・金魚・メダカと種々育てている菊池さんの熱心さに敬服しました。(渡邊)

- 区民編集メンバー
- 安藤 洋一(チーフ)
 - 吉田由紀子(サブチーフ)
 - 伊関 則子
 - 菅野 真美
 - 立原 太郎
 - 森 裕子
 - 渡邊 義信
 - 谷知 貞江(サブチーフ)
 - 白石美穂子
 - 河村 保弘
 - 滝川 晴子
 - 三村 晴子
 - 安 勢津子

※この情報紙は、区が公募し応募のあった地域住民と、区との協働でつくりかれています。

毎週水曜日は午後7時まで受付

※取扱業務は限定されます。事前にご確認ください。

区民課窓口サービス係

☎5421-7612 / 保健福祉係

☎5421-7085